

小山高校 2020年度入試結果分析総括

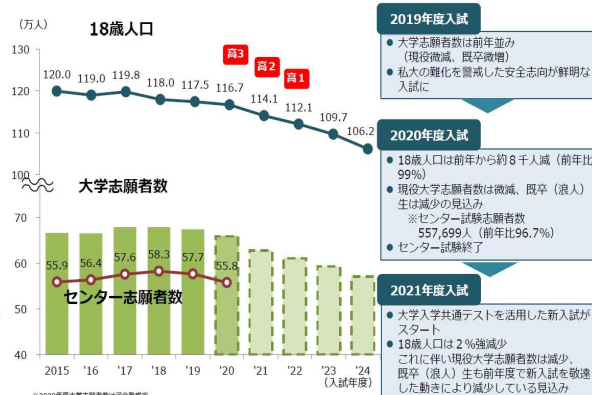
信じる **Trust!** 育てる **Foster!** 支える **Support!** 進路指導部

1 2020年度入試の受験トピックスと受験環境

2020年度入試の概況

- 大学志願者数は減少
 - ・センター試験受験者数は4%減
- センター試験 平均点はダウン
 - ・英語・数学・国語の主要科目でダウン
- 国公立大の状況
 - ・志願者数は減少、競争緩和へ
 - ・前年低倍率の大学・学部では志願者増も
- 私立大の状況
 - ・志願者数は14年ぶりに減少、とくにセンター方式で顕著
 - ・合格者の絞り込みは落ち着く見込み
 - ・近年の難化の影響色濃く、難関大は敬遠傾向

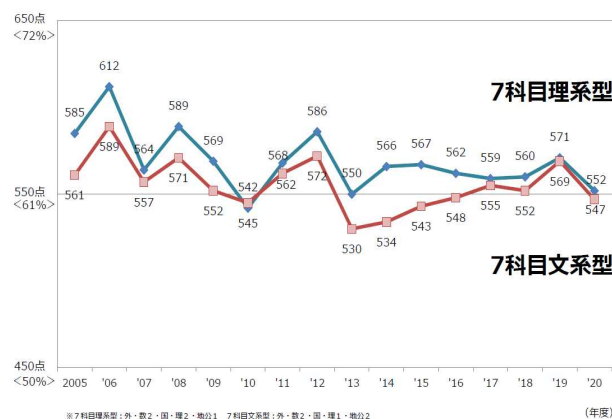
大学志願者数の推移



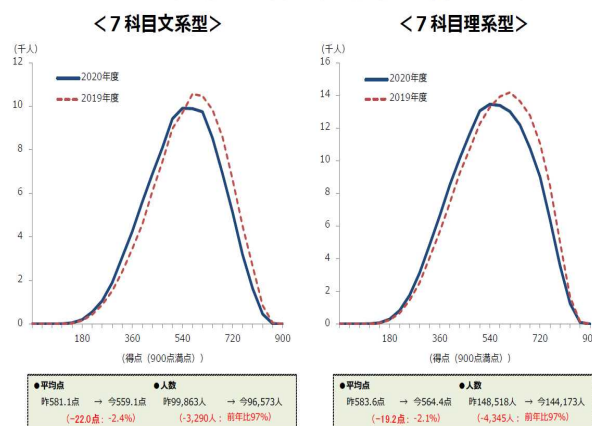
2 センター試験分析

■全国概況：5教科文系・理系、ほぼ平均点550点

センター試験 7科目型平均点の推移



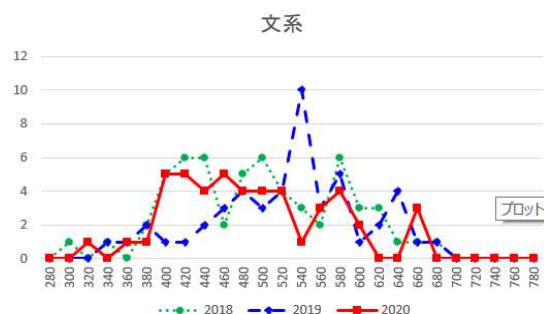
センター試験 7科目受験者の得点分布



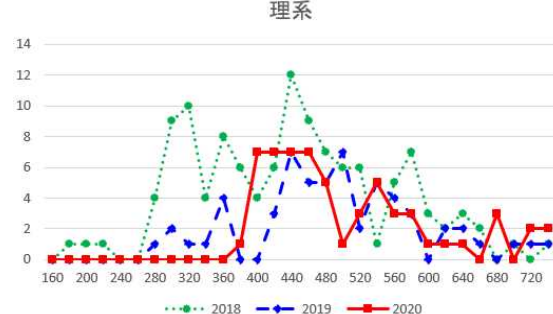
- ◆国・数・英の難化により、【5教科文系】、【5教科理系】ともに、ほぼー20点分布的には、高得点層も含めて、全体的にグラフが左にシフトした。

■校内概況

【文系】



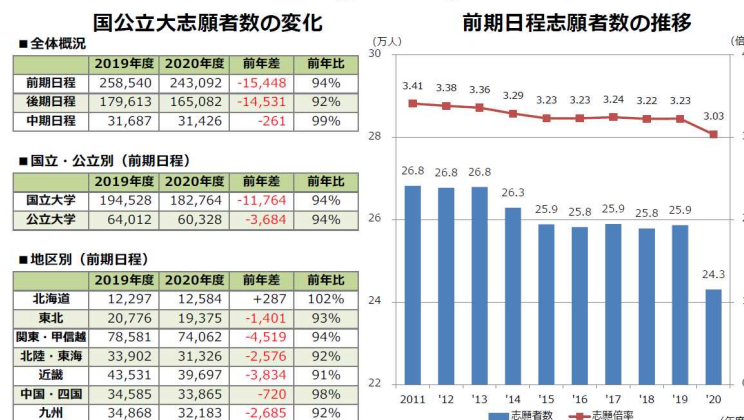
【理系】



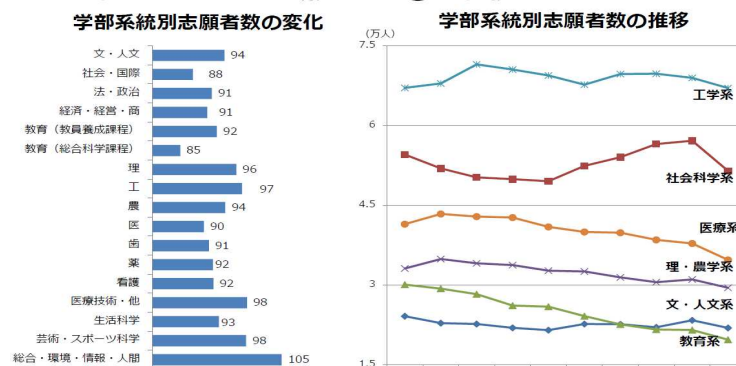
- 文系：国公立文系が例年より少なく中位層は例年より薄かったが、600以上の上位層は、例年並。
- 理系：国公立大学の合格可能性が高くなる540以上の中上位層が、例年より厚く健闘した！！また、最高点の795点は、本校で過去最高であった。

2 国公立大学入試

国公立大の志願状況①(全体概況)



国公立大の志願状況②(系統別の状況)



□後期欠席率 過去最高約61.3% 急上昇!! [3人に2人は欠席]

近年の受験生は最後まで粘りきれない、見かけの倍率が高く諦めてしまう、また通える合格した私立でいいと決めてしまいがちな生徒が多いことから、後期欠席率は年々上昇し続けている。欠席率が高いことから、後期の実質倍率は低く、本校生徒も例年、後期まで頑張り切った生徒が、厳しい判定でも逆転合格しています。だからこそ、やはり見かけの倍率にごまかされず後期まで頑張り切ることが、国公立合格の鉄則である。

3 国公立大学概況（本校）

- ◎今年度57名合格!!
- 3カ年で、約200名合格!!
- ◎一般入試合格率：50%!!
- 全国平均(22%)の約4倍!!
- ◎東北大：2人合格!!〔過去最高〕
- ◎宇都宮大：17名合格!!

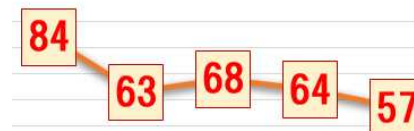
- 志願状況
- 志願者数：減少
- 志願倍率

○前期：約3倍 ※昨年度3.2
○中期：約1.3倍 ※昨年1.4
○後期：約9倍 ※昨年度10
□平均倍率：約3.0倍と前年より0.2減少して、過去最低
→国公立大学の人気は変わらないが、志願者が減り、競争緩和へ。

- 学部系統
- 「文高理低」確実に変化
- 増加傾向
- 情報・総合・環境・人間系統
- 上記以外の系統は、すべて減少傾向。
- 教育・医・歯・薬・医療系統の資格系統でも減少が目立った。



国公立大学合格者数



H28 H29 H30 R1 R2

◎推薦・AO入試

31名出願して、16名合格!!

合格率は52%と、全国平均30%を大きく上回り、高い合格率!!

◆宇都宮大学:

- 7名出願して、6名合格!! 合格率86%
- 特に工学部は、5力年の合格率は約95%

■国公立大学合格者数 ベスト3

①宇都宮大	17	②群馬	6	③新潟	3
-------	----	-----	---	-----	---

■難関国公立大に、7名合格!! ※過去最高

東北大学（2名）・筑波大学（1名）・千葉大学（2人）・金沢大学（1名） 横浜国立大学（1名）

《参考》

2013年度	4名	【東北1、東京農工1、首都大東京1、筑波1】
2014年度	5名	【筑波2、東京農工1、東京学芸1、横浜国立1】
2015年度	5名	【名古屋1、千葉3、弘前・医・放射線1】
2016年度	5名	【山梨・医1、千葉1、金沢2、茨城県立・放射線1】
2017年度	6名	【筑波1、金沢2、広島2、群馬1】
2018年度	4名	【東京医科歯科1、金沢1、山口東京理科・薬1、埼玉県立・臨床検査1】

■校内模試との相関は明確 【5教科7科目900点満点】※過去10ヶ年の分析

◎国公立大学合格者 【校内模試平均】 384点（得点率43%）

昨年385

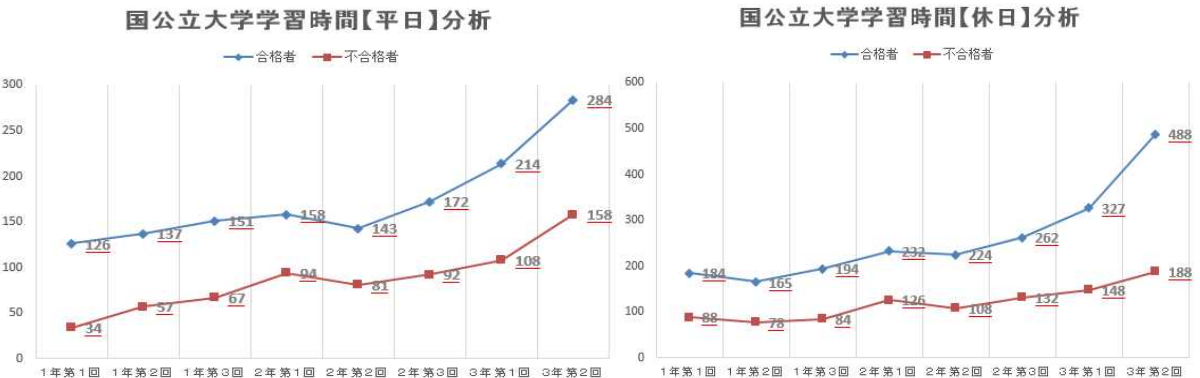
◎宇都宮大学合格者 【校内模試平均】 392点（得点率44%）

昨年395

◎難関私立大合格者 【校内模試平均】 297点（得点率50%）

昨年295

■国公立大学合格者《学習時間と教科数》との相関大

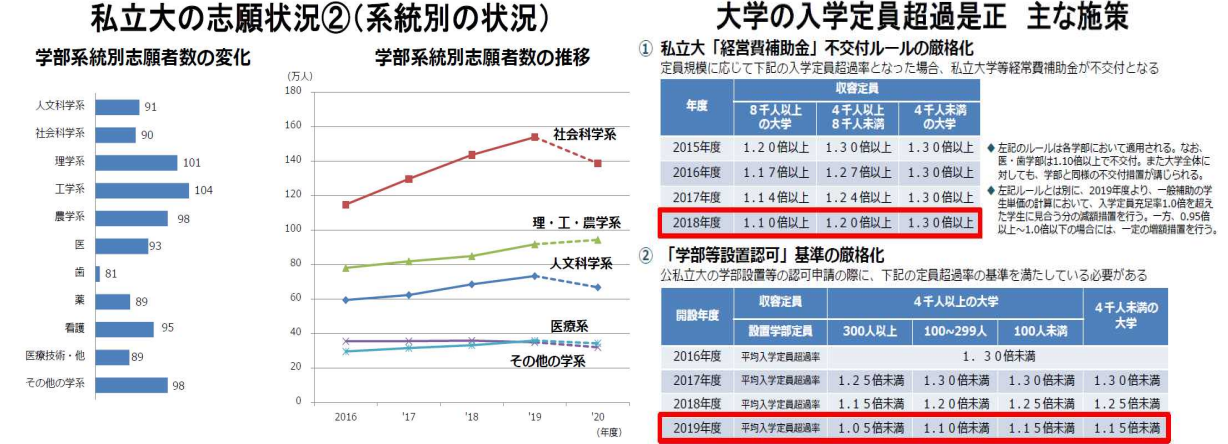
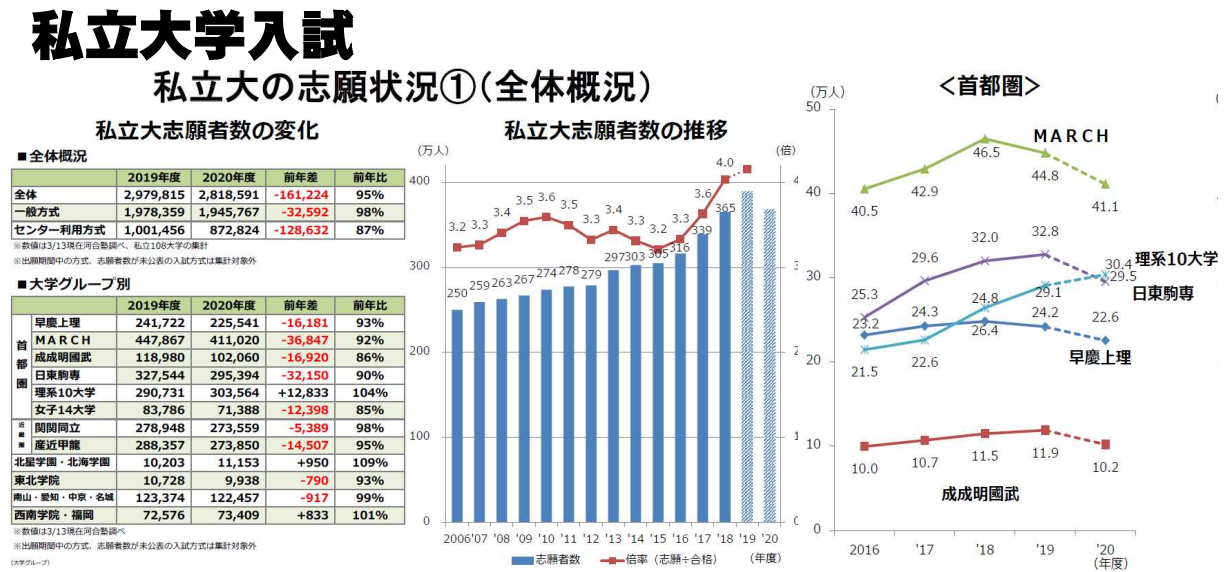


◎1日学習する教科数

【平日】1・2年生：英・数＋1教科
3年生：□国公立志望 4教科以上 □私大専願 私大の受験教科

【休日】1年生：英・数・国＋1教科、2年生：5教科
3年生：□国公立志望 5教科以上 □私大専願 私大の受験教科

《単位は分》



■志願状況

① 13年間連続志願者は増加傾向続が続いてきたが、今年度は減少に転じた!! 特に、センター利用入試が大幅に減少したのが特徴的。

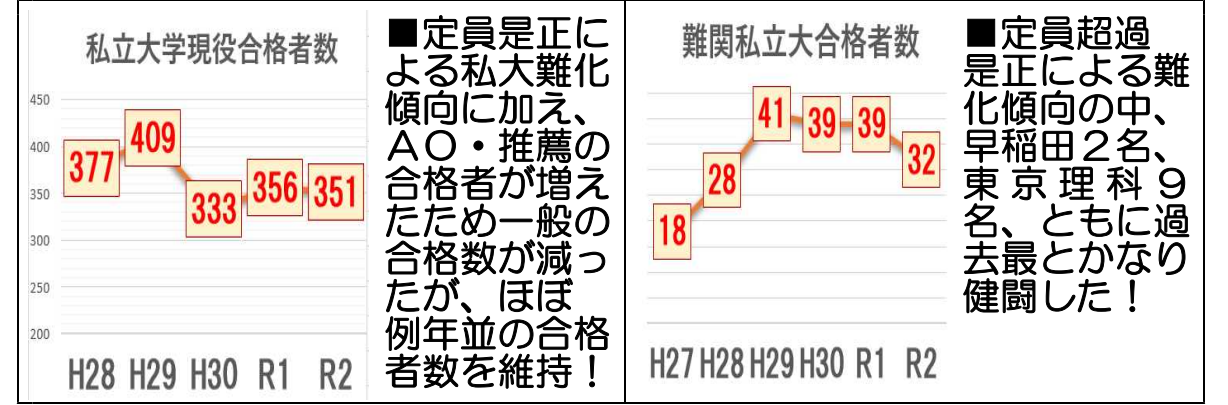
②早慶上智・理科大学・GMARCH等、難関大学の志願者が減少。

③上記難関大学以下の都市部の大東亜帝国等に、志願者が大幅に増加。特にAO・推薦等の内定者が大指示に増加、一般入試がかなり難化。

■学部系統：国公立大学同様、文高理低が完全に崩れる!!

【文系】人文科学系・法学・経済・経営・商等が、大幅に減少!
【理系】理・工・農：昨年に続き増加! 教育・医療他はほぼ昨年並

◎難関: 早稲田大学に2名(過去最高)合格!!



■難関私大計32人合格 H28(28名)→H29(39名)→H30(39名)

※主な難関私立大学

早稲田	2	明治	4	青山学院	2	学習院	4	中央	1
法政	6	津田塾	1	東京理科	9	同志社	2	関西学院	1

定員厳格化による難化下、早稲田、東京理科で過去最高の合格者が出たこと、
ほぼ例年並の合格者を維持出来たことは、かなり健闘した！！

■中堅私大計158人合格 H28(187名)→H29(171名)→H30(185名)

※主な難関私立大学

日本	17	東洋	21	駒澤	7	専修	4	成城・成蹊・國學院・武蔵	6
明治学院	3	大東文化・亜細亜・帝京・国士舘	24	順天堂・杏林	4	文教	10	獨協	13
芝浦工業	8	日本女・昭和女・大妻女・女子栄養	6	東京電機	15	東京都市	12	工学院	5
東京農業・東京家政	5								

定員厳格化による難化、また特に今年度はAO・推薦入試で合格内定した生徒が
かなり増加し、一般入試を受験する生徒が例年より30名ほど少なかった背景を
踏まえて、今年度ほぼ例年並の合格者を維持出来たことは、よく健闘した！！

■私立大学合格者数上位ランキング

①白鷺大	39	②東洋大	21	③日本大	17	④東京電機・日本工業	16
------	----	------	----	------	----	------------	----

5 推薦・AO入試について

◆国公立大学31名出願→19名合格!!【合格率61%】

全国平均30%の約2倍、高い合格率!!

◎特に、数理科学科の合格率は88%と驚異的!!

→数理科学科の課題研究等、AO・推薦入試で大きく評価

◎センター利用推薦の合格も毎年出ている→絶対効果的!!

◆宇都宮大学：7名出願→6名合格!!【合格率86%】

宇都宮大学・群馬大学	6名	山形大学	2名
------------	----	------	----

◆私立大学89名出願→86名合格!【合格率約97%】

指定校推薦は内56名

※H28(40名)→H29(40名)→H30(40名)

小高生の素直・謙虚・実直な人柄は、大学等から高く評価されるので、本校は
AO・推薦はとて有効な戦略!! 希望校であれば、積極的にチャレンジ!!

6 医療系入試について

群馬大学・医・看護、埼玉県立大・保健医療に現役合格!!

自治医科大学・看護に3人現役合格!!

◆国公立大学志願者:「看護」は減少。「薬・医療技術」は増加。

◆私立大学志願者:「看護・医療技術」、「薬」は昨年の減少傾向を維持。

【国立大学】群馬大学・医学部・保健学科／看護専攻専攻

【公立大学】埼玉県立大学・保健医療・健康／健康行動学専攻

【私立大学】自治医科、獨協医科、国際医療福祉一、足利、群馬パース、目白、
順天堂・帝京、帝京平成、人間総合科学、等

【看護専門学校】栃木県衛生福祉大学校、晃陽看護栄養専門学校、等。

7 就職 2名 自衛隊 ※例年1~2名：公務員・自衛隊

8 浪人 H29:17名→H30:19名→R1:19名→ R2:7名

■小山高校の進路指導について

1 進路指導部の指針

◎『行き先』指導ではなく、『生き方』指導

『生徒のモチベーションを上げる・仕掛ける・攻めの進路指導』

『信じる』Trust! (生徒の可能性を信じる!)

『育てる』Foster! (生徒のモチベーションアップを図り、夢を育てる!)

『支える』Support! (生徒と最後まで付き合い、全力で支える!)

2 効果的な進路指導のための2つのキーPoint

(1) キーその1~ 3年間の指導方針を明確にして指導する

◎全学年：基礎・基本の徹底・自主学習能力の育成

朝学【毎日40分×約600日(3年間)＝約400時間以上】

<1年次進路指導>

職業理解、大学理解→→文理選択決定

■キャリア教育【6月：職業理解：9月文理選択】※アクティブ・ラーニング

1日大学見学会・進路講演会(10月)、進路・受験指導(各学期)、等。

<2年次進路指導>

学部・学科、入試制度理解→大学に行く意義の理解を深め→志望進路先の決定

→志望理由書の作成

■キャリア教育【6月：学部・学科理解、9月：将来の方向性・設計】

※アクティブ・ラーニング、学部学科説明会(7月)・進路講演会(11月)

進路・受験指導(各学期)、等。

<3年次進路指導>志望進路の実現

(2) キーその2~

仲間の声を力にし、チーム小山の意識を高める!

◎『受験は団体戦!』仲間の声を力(One for all, All for one)

みんなで頑張る雰囲気・仲間への「気づき」が生徒を成長!!

→「チーム小山」の意識・形成

3 だから、小山高校は・・・

早稲田大学に合格した先輩から

小山高校の先生方は、生徒一人一人ときちんと
向き合い、いつも真剣に考え、全力でご指導して
くださいます。中学時代下野模試で小山高校の
合格判定が努力圏、英語の偏差値50以下だった
私が、到底無理と思われた難関早稲田大学に合格
できたのも、そんな先生方や支え合う友人たちが
いたからと、心から思います。

また私は、小高の指導だけを信じて、素直に努力を重ねることで、
自信を持って入試に挑み、合格できました。

私は、小山高校で高校生活を送れたことを、誇りに思います。

小高は自身の可能性・力を最大限引き出してくれる学校です!!



小山高校は、
高校入学後から
卒業までに、
生徒が
本来持っている
良さ・力・可能性を
引き出し、また
それを、最大限
伸ばしてきた実績
のある学校です。